

成田国際空港

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	契約単価の見直し	R5年度ベースアップ、初任給アップを実施。(2024年2月より開始)	
		契約単価の増額を要望し、社員への賃上げを検討	昨年度末に空港関連会社との評価会により、弊社要望を申し入れ、昨年度単価から引き上げとなった。	申し入れにより契約単価アップが実現し、社員へのベースアップ、定期昇給の原資として活用を実施。
		委託元からの業務受託料引き上げについて継続交渉	委託元との契約交渉において実態に即した料金設定になるよう継続的に交渉を実施。	
		委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	FY24についても前年同様に値上げを反映して契約締結を実施済み。
		値上げ交渉の実施	関連会議での体制報告を実施。AOC/NAAに対し、体制・資格者数・値上げした場合の検査員への還元状況・社内収支等を報告。来年度単価についての交渉はまだ開催はされていない。	R6.4より給与のベースアップを実現 その他継続中
		別途交通費(タクシー代)の請求	公共交通機関の運行がない時間帯での業務の開始に対し、航空会社へ別途交通費(タクシー代)を請求。対象の航空会社に対し、タクシー代の請求はできている。	継続中
		CPI上昇率に応じた価格交渉を実施	各顧客との交渉	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	イレギュラー発生時の対応について特別料金の設定	各社との契約締結時に諸条件について整理を行い、料金設定を交渉。	
		委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	最低保証料金の設定や品質連動制度については契約内容に反映済み。

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	フライトキャンセル、到着/出発時刻の遅延時、及びエクストラ業務への料金設定。 厳しいSLA(Service Level Agreement)内容の精査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンセル、遅延が発生する際の状況の把握等、情報収集を実施。</li> <li>・ハンドリングに大きく影響を及ぼす運航情報(キャンセル、遅延等)は、早めに提供すよう、航空会社へ依頼。契約書に織り込む。</li> <li>・SLAの内容については、最新の注意を払い内容を精査し、必要に応じ協議するようにしている。</li> </ul>	継続中
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	安全衛生活動の強化	熱中症対策として塩タブレット、飲料、氷菓の適宜準備と毎日の健康観察の徹底。冷凍食品(おにぎり、魚等)の社内販売開始。季節性疾患(インフルエンザ等)予防飲料の配布。	
		賃上げ	原資として活用することで離職防止に繋げる	
		控室の拡大	従来の研修室と休憩室をそれぞれ2倍に拡張する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機の設置(飲料/食べ物)</li> <li>・椅子/テーブル等の刷新</li> </ul>
		改善提案活動の推進	ヒヤリハット活動・改善提案活動の推進 表彰制度を導入し推進中	
		設置照明のLED化 共有トイレの改修 ユニフォームのリニューアル 社員駐車場の設置 給与改定 事務所環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存照明をLEDへ変更したり、事務所の内装工事を行った。老朽化した共有トイレを改修し、衛生面の改善を行った。</li> <li>・夏服を通気性が高いポロシャツへ変更すると共に、防寒性に優れたものへ変更、全体的に吸汗・速乾性にも優れた高ストレッチ素材を使用したユニフォームへ変更を行った。</li> <li>・空港外のスペースを借り入れ、社員専用駐車場を配備した。</li> <li>・基本給のベースアップを4.01%、定期昇給1.37%、その他諸手当を含めると計7.19%給与改定を行った。</li> <li>・現場事務所の照明LED化、天井、床面の補修工事を実施。</li> <li>・基本給のベースアップを3.82%、定期昇給1.42%、その他諸手当を含めると計5.88%給与改定を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入共同上屋ビル内共用トイレ改修完了(R4.10)</li> <li>・設置照明のLED化、最終更新(R5.6)</li> <li>・ユニフォームのリニューアル配布済み(R5.8)</li> <li>・社員駐車場の運用開始(R5.4~)62名の利用者(R7.2時点)</li> <li>・給与改定実施(R5.7)</li> <li>・給与改定実施(R6.7)</li> </ul>
屋外(ランプ)における熱中症対策、被雷対策	屋外(ランプ)における熱中症対策、被雷対策として屋根付き貨物牽引車14台導入済み。今後購入する車両は全て屋根付きとする予定。南貨物地区に休憩室を設置予定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根付き貨物牽引車を引き続き導入予定</li> <li>・職場環境の改善のため委託先社員が使用するトイレを全面的に刷新し安全衛生面の改善を実施。(25年1月末一部刷新完了)</li> </ul>		

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	賃金改定について社員へ説明	正社員のベースアップを実施。	
		処遇改善	検査員の給与を1~10%をアップした。 早朝勤務者に対する「特殊勤務手当」を新設し、7時以前の勤務開始者に支給を開始した。	早朝手当については一定の効果はあったものの支給額に対する不満も多く、金額の見直しが必要
		休憩室へのコロナ対策、除菌・脱臭装置の導入	感染症予防および休憩室をより良い環境にするのため、「UV-LED」と「光触媒」による除菌・脱臭装置を逐次導入した。	在籍人数に対してのコロナ罹患者数は少なかったように感じられた
		一部採用難空港における寮費無償	新規採用者については、入社後6か月間の無償貸与を検討中、R5年10月開始予定	成田空港でも実施。一定の効果はあるが会社の費用負担も大きい。また家賃補助制度がない為、社宅入居者以外からの不満も多く、社内での調整が必要。
		職場環境改善の一環として休憩室のリノベーションを実施	現業部門社員の休憩室の床(カーペットからフローリングに施工)の改修、個人ロッカーの更新、休憩室内のリノベーションを実施した。	衛生面の向上、プライバシーの確保ができ職場の環境改善ができた。
【短期】	職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員数や労働時間の定点的な情報収集	職員の負担を定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。	定期的に情報収集を実施しており、グループ委託先においてFY24期初より労働時間及び休日数の見直しを実施済み。
		全課員との意見交換会の実施。	部長職以上にて全課員との意見交換を実施。課として取り組むべき課題と解決に向け、日々調整中。	継続中
		長時間労働者の洗い出し	毎月の個人別勤怠データを分析	
		生産対応状況の確認	適正人員配置に向け作業効率の見直しを実施。また生産性向上に向け意見交換会を実施。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	正社員を充足しきれない領域については派遣社員を受入れ、職員負荷軽減を実現した。	
		荷物量分析	社内での月次荷物量分析により、適宜、工数増の提案を実施。物量増加に対し、工数増を提案し、現場高負荷の抑制に努めている。(年度初めと比べ、現在30工数/1日 増で対応)	継続中

【実施主体: 個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	受託航空会社(配便)の取扱上屋変更	・取扱量が減少した取扱棟の配便(航空会社)を見直し、増加傾向にある取扱棟から棟の変更を行った。	R5.7.1より、一部受託航空会社の取扱便を変更する。A棟⇒C棟 R6.4.5より、受託航空会社の輸出貨物取扱棟を変更する。I棟⇒B棟 R6.10.27より、受託航空会社の輸出貨物取扱棟を変更する。F棟⇒H棟
		社員の残業過多を抑制する為、旅客動向に合わせてその都度、工数ミーティングを実施	弊社社員の過剰な残業を抑制する為、旅客動向や航空会社ニーズを踏まえてその都度ミーティングをセッティングし、適正な検査工数を作成。	航空会社より過度な検査場運用要望につき、弊社人員繰りを丁寧に説明し、今後の入社計画を提示し現業社員の負担を考えた保安検査工数運用を表現。
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	合同企業説明会への参加	就職エージェントが主催する企業説明会に参加し、当社の認知度を高める。	R6年度大卒面接応募数は前年比215%増(6人⇒19人)達成。
		求人情報ページの構築	主要となる航空給油・車両整備・品質管理の各業務内容を動画で紹介し理解を深める。	R6年度内正式応募者(履歴書受領者)前年比45%増(33人⇒48人)達成。
		新卒及び中途社員の積極的採用	・補助金により会社パンフレットをリニューアルし、合同説明会への参加、学校訪問を実施中。 ・HP、求人媒体を使用し募集を強化。	
		<技能実習生の積極的な活用> ・技能実習生の新規採用 ・ハローワーク(外国人雇用サービスセンター)に求人掲載	2024年度:6名の実習生の受入れ 2025年度においても2期として6名の実習生を受入れ予定	不足人員の補充に効果
		<技術・人文・国際業務J資格者の積極的な活用> ハローワーク(外国人雇用サービスセンター)に求人掲載	随時応募者に対応していく	
		<会社説明会の積極的な開催> ・学生の学業を優先し、会社説明会を週末に開催 ・各事業所において毎月1回以上を開催	・合同説明会に参加した学生への告知 ・HPまたは求人媒体を使用しての告知	説明会への参加者の増加(対前年比:2倍)
		新卒高校生の採用強化に伴う高校訪問の実施の促進	7月より高校生の採用が解禁となり、求人票を各校へ直接届け、高校教員へのグランドハンドリングを理解も併せて実施した。今年は全国の高校から就職率が高い約200校の高校へ直接求人を持参を実施した。	遠方地の大分県、福島県の高校から問い合わせがあり7月中に職場見学を3名実施した。結果、3名共に応募があり採用内定とした。
		・合同企業説明会への参加 ・インターンシップの受入れ ・派遣社員の受入れ ・アルバイト雇用	合同企業説明会に参加し、積極的な採用活動を実施。また、専門学校や大学からのインターンシップの受け入れも並行して実施。即時の人材確保としては、派遣社員・アルバイトの採用も展開。	

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>賃金ベースの改定</li> <li>年間休日の改定</li> </ul>	職員の生活環境を向上させ、同時に競争力を持った採用を進める為、大幅な賃金UPを実施。また、年間の公休日数は110日⇒120日へ増やし、従業員の待遇改善を実施。	
		自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	特設サイトのコンテンツ機能を追加
		グラウンドハンドリング業務見学会実施時のギブアウェイ作成	グラウンドハンドリング業務見学会に参加された学生の皆さんにお配りするギブアウェイ(自社ロゴ入りエコバッグ)を作成し配布した。	
		空港業務採用ホームページ作成	全国の空港を対象に、空港業務を紹介し、ハンドリング会社の採用情報を網羅できるようなホームページを作成した。	
		空港業務採用説明会、WEBセミナー開催	自社グループ空港業務や採用について説明する動画を作成し公開した。	
		広告、ギブアウェイ作成	採用説明会に参加者に配布するギブアウェイ(自社ロゴ入りボールペン)を作成し、配布した。	
		自社グループ求人情報ページの構築	アクセス数や閲覧滞在時間を向上させるため、自社グループ全体の求人情報ページを構築した。	
		合同説明会、求人サイトの活用	求人会社、自社が主催する合同説明会に参加。また、各種学校を訪問し、グラハン業界を就職担当者へ説明する(会社ギフトも進呈)	毎月、3~5名程度の中途者が入社(経験者も有)
		海外の大学からのインターン	インターン生15~20名の導入予定	
		合同説明会、求人サイトの活用	求人媒体を拡大し広くアピール	
		企業説明会への参加等	空港合同説明会等へ参加するとともに、学校訪問や採用サイトの内容改訂等を実施。NAA合同説明会にも都度参加。	継続中

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用)等)	ダイバーシティ採用の強化	外国籍、高齢者や働くママを積極的に採用(派遣含む)。VODを導入し、応募者がいつでも説明会の様子を見られ、採用担当者の説明時間削減を図る。	
		企業説明イベントへの参加や就職情報サイトを活用した採用活動の強化	「マイナビ」や「マイターミナル」といった就職情報サイトを活用した企業PRを行うとともに、積極的に企業説明イベントへの参加を行い、採用活動の強化を行っている。	中途採用実績 R5 6名採用 R6 3名採用 R7 11名採用(2月1日時点)
		既卒採用強化及び新卒採用強化として合同採用説明会に出展	既卒者向けの空港合同採用説明会と新卒者向けに千葉県内の高等学校の就職指導担当者様への説明会に参加。	採用目標数には達することはできなかったが、既卒採用、新卒採用ともに昨年よりは採用数が向上できた。
		入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	入社3か月後の支給としており、入社後すぐに辞めていく者はかなり減ったように感じる
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)	座学研修期間の短縮	一部カリキュラムの見直しとOJTやフォローアップに組み入れることでマンパワーとしての現場投入タイミングを早めた。研修動画を制作し講師の講義時間を削減を図る。	
		プッシュバックシミュレーターの活用	従来10~12ヶ月要したトレーニング期間が、5か月程度に短縮。若手のモチベーション維持や採用活動にも活用する。	R5年度…6人のドライバー養成に成功 更に成田空港内10SPOT+2機種追加
		ダミーシップの活用	従来的一本タイプから折りたたみ式を導入	
		共通する業務の教育短縮	他部門と共通する業務においては、各業務特性など教育内容を必要最小限にとどめることで、訓練期間の短縮を図っている。	継続中
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	事業所間での人員支援	急激な航空需要の回復に対応すべく、事業所間での支援体制を構築し、全社での対応を実施。	
		空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。(継続)	グループ委託先において、他空港に対して応援者を派遣しリソース不足解消を図っている。

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	新入社員の早期育成計画の確立 管理職の適宜フォローアップ	社内教育(新規・リカトレ)の教育時間及び内容の見直しを行い、スキルの維持をしつつ、現場への早期投入。警備業における法定教育の後の現場教育について、資料改訂、現場教育の効率化を主眼に教育プログラムを変更した。	継続中
		短時間勤務者の積極採用とマルチスキラーの育成	曜日や時間帯の縛りを考慮しながら、便が重なる時間帯への配置を行っている。複数のジョブを取れるスタッフを育成。	
		人的リソースの配置調整	各部門の繁閑差による人的リソースの配置偏りを平準化すべく、繁忙部署への一時的な配置調整を実施し、急な応需回復に対応している。	継続中
		検査員の空港間支援の実施	急激な複便により業務過多になっている空港や傷病者発生空港に対し、他空港から検査員を一定期間支援させ、現地検査員の勤務緩和を行っている。	成田から支援を出すことも多かったが、他社含め余剰人員を抱えている検査会社は皆無の為、抜本的な対応が必要と考える(空港保安検査員の処遇改善)。
【中期】	長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	社内公募制の運用	まずは待ったなしと思われるポジションについて社内公募を実施	
		新人事制度を検討	2024年4月導入をめざす	
		2025新卒採用に向けた、キャリアパスを考慮した組織改革に着手	ジョブローテーションを含めたキャリアパスの構築	
		自律的なキャリア構築に向けた成長・学びの場の提供	・公募による社内外異動の活性化。 ・グループ内外へ出向・派遣の拡大。	
		新人事制度の開始	今年度より、2023年4月より人事制度の全面見直しが行われ、当社内におけるキャリアパスの整備が行われた。	継続中
		中間層教育 外国人教育	新人役職者に対し、外部研修を実施 技能実習生に対し、専門学校講師による日本語教育	

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽食自販機の設置</li> <li>毎月イベントの実施(Valentineデーにチョコの配布等)</li> <li>空港会社の取り組みであるeスポーツへの参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各オフィスへ軽食自販機(おにぎり等)を設置</li> <li>毎月何らかの季節的なイベントを継続</li> <li>eスポーツ用ゲーム機を購入</li> </ul>	
		快適な作業環境を構築する	2024年4月より新制服を導入予定	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>職場環境の整備</li> <li>コミュニケーション創出の機会を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場事務所にエアコンの整備</li> <li>野外階段部に照明・落下防止用手すりの設置</li> <li>「あいさつ運動」の推奨</li> <li>社内懇親会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間での事故防止に繋がる</li> <li>空調管理により職場環境の改善</li> <li>コミュニケーションの向上を図ることにより、活気ある職場環境下での就業が可能になった</li> </ul>
		【福岡空港】 空港ターミナルビル立て替えに伴い、新事務所/休憩室を設置	大幅な事業拡大を実現する為に、社員の増員ならびにESを向上させる為に事務所ならびに休憩室を確保し、職場環境を改善した。	
		貨物搬送台車(Pallet Dolley)に動態管理装置の設置	貨物搬送台車約1,300台の配置場所、貨物有無を把握し、機材人員の効率的な運用に向けたトライアルを順次拡大中。R5年度末までに全台実装予定。	動態管理装置を搬送台車に設置し、動態管理システム(ダッシュボード機能含む)による効率的な運用を開始した。
		ハード:制服の変更 ソフト:人財の確保、有休取得の推進、残業の抑制	ハード:従業員が動きやすい機能的な制服に変更予定 ソフト:採用を強化。慢性的な人員不足の解消を目指し、有休取得増、残業減に繋げる。	R5.10より新規制服にて業務を開始する その他継続中
翻訳機の導入 業務ログの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能実習生に対するコミュニケーションツールとして</li> <li>業務日報から請求書発行までの同一システム導入</li> </ul>			
【中期】	特定技能制度の積極的な活用	登録支援機構アセアンへの依頼	2024年12月から徐々に、現在16名他1名を戦力化へ向け教育訓練実施中。	必要人員の採用を確立、今後の仕事量との公平性に向け実現させていけることが見えてきた。
		インドネシア人大学生インターンシップ実習生受入を実施	23年7月より段階的にインターンシップ生を受け入れインターンシップ実習を実施しながら社内で日本語教育、特定技能テスト勉強を実施している。	現時点で5名が特定技能を合格しておりインターンシップ期間内に全員の合格目指す
		<ul style="list-style-type: none"> <li>特定技能1号の新規採用</li> <li>技能実習生の受入れ準備</li> </ul>	技能実習生導入予定に伴い、作業指導および生活指導を担う要員として特定技能スタッフを3名先行導入する。	不足人員の補充に効果
		外国人採用	現時点で在籍数約100名。最終目標200名強	
		居住確保	既に保有していた社員寮180名収容を全て外国人専用寮に変更。日本人は別途寮を確保中。	

【実施主体:個社】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	特定技能制度の積極的な活用	特定技能制度を活用したスタッフの受け入れ	特定技能登録支援機関と連携し、受け入れに向けた社内体制の整備を実施。	不足している正社員雇用を補うとともにインバウンド拡大及び国際線業務拡大に対応
		人財ポートフォリオの形成・多様な人財の活躍推進	・グループ内での特定技能の活躍の場を拡大。 ・外国人材の受け入れ体制、規程の充実	グループ委託先において、台湾籍人財の受け入れ継続。加えて25年2月からはベトナム籍人財の受け入れ予定。(特定技能制度ではなく技人国の受け入れ)
		-	現在、外国籍の方は在籍していないので、今の所なし。	変更なし
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現	多様な人財が働きやすい環境の整備	・ライフスタイル(産前産後、パート社員など)に応じた多様な勤務時間の設定。 ・シニア社員、障害者などの活躍の場の拡大。	・グループ委託先においては、育児介護施策として時短や短日数およびシフト固定勤務などを取り入れておりFY25からは更に制度拡充を図る予定。 ・R6年度よりシニア人事評価制度を改訂予定(一部個社では、R5年度期中より導入開始)
		リソース変更検討	契約従業員やパート・アルバイトへの切り替えと時短労働者の使用方法を検討予定	
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定	能力に応じた、競争力のある賃金の設定	評価・役割・責任に見合った賃金設定とすることで、納得感を持って働ける環境を提供する。あわせて、働き続けキャリアアップすることへのモチベーションを向上させる。改善に向け随時見直しを実施中。(継続)	
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し等)	アサインの見直しや休憩時間の多重使用削減検討	休憩時間の多重使用を減らし、拘束時間を減少を取り組む アサインの見直しは継続中	

【実施主体:空港会社等】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	「ランプハンドリング競技会」の開催	成田空港にて業務を行うグラハン会社6社から2名ずつ選手が参加し、2人1組で貨物の降載及び積込技術並びにトーイングトラクターの運転技術を競った。	
		制限エリア(エプロン地区)における食事購入機会の提供	エプロン地区には店舗等がなく、食事を購入する機会が不足していたため、スタッフ向けの弁当販売を開始し、食環境の改善を図った。加えて、年中無休24時間営業の無人コンビニ店舗を設置し、エプロン地区の利便性を向上させた。	
		休憩室の増設・拡充	コロナ禍からの回復と共にスタッフ数が増加していることから、従業員休憩室の増設や、什器の更新等を行った。	
		従業員専用喫煙ブースの設置	第2旅客ターミナルビルの一般エリア(屋内)には従業員専用の喫煙所がなかったため、従業員もお客様に気兼ねなく利用できる専用の喫煙ブースを設置した。	
		熱中症対策としての飲み水の提供及びトレーラーハウスの設置	第3旅客ターミナルビルのソーティングエリアに、熱中症対策も踏まえて、ウォータスタンドを設置し冷水の提供を行った。また、建物から離れたエプロンには、熱中症対策用に、夏季限定で冷房を完備したトレーラーハウスを設置した。	
		制限エリア(エプロン地区)における喫煙環境の整備	エプロン地区における非喫煙者、喫煙者双方に向けた環境改善のため、喫煙所入口へのエアカーテンの設置、及び喫煙所内へヒップバーを設置した。	
		空港内従業員を対象とした空港見学ツアーの実施	成田空港内で働くすべての空港従業員を対象とした成田空港見学ツアーを開催。普段の業務では立入れないエリア(エプロンエリアやランプタワー等)の見学や他業種の参加者と交流することで、「成田空港で働いているからこそ特別な体験」を空港従業員に提供した。	
空港内従業員を対象としたeスポーツ大会の実施	交流促進を目的として、グランドハンドリング及び保安検査業務に従事している4社及び当社にて、計30名の若手社員が参加したeスポーツイベントを開催した。			
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同説明会等)	「夢へのフライトプラン」への協力	航空科学博物館にて開催される航空学校説明会「夢へのフライトプラン」に協力し、空港見学バスツアーを実施。	
		専門学校オープンキャンパスの開催	コロナ禍以降航空業界への就職志望者が減少していることを踏まえ、将来航空業界を目指す人材を増やすべく、専門学校と連携した、オープンキャンパスを随時開催。	

【実施主体:空港会社等】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同説明会等)	全国航空専門学校合同説明会	将来の航空/空港業界の人材の育成・確保を目的に、全国の航空専門学校を一堂に集め、今後の進路を検討している高校生が直接各校の担当者と話ができる説明会を開催。実際にグラハンの現場を見ていただける空港見学ツアーも同時開催。	
		「成田空港合同企業説明会・空港見学会」の実施	成田空港内企業が出展する「成田空港合同企業説明会」及び実際の作業現場を見学出来る「空港見学会」を実施。	
		「千葉県内大学生対象 成田空港見学会・座談会」	千葉県内の大学生を対象に、実際の職場を見学し、スタッフの話聞くことで、航空・空港業界の業務やその意義に関心を持ち、成田空港の仕事に対する理解を深めてもらう機会として開催した。	
		高等学校教員向け空港見学会	高等学校の教員に航空/空港業界の様々な仕事・職について関心を持ち、理解を深めてもらうことで、高校生の航空/空港業界への就業意識の向上につなげるために開催。	
		千葉県大学就職指導会との新卒採用に関する情報交換会	千葉県内にキャンパスを有する27大学の就職担当者と構成される千葉県大学就職指導会と、成田国際空港で事業を展開している企業との、新卒採用に関する情報交換会を実施。	
		「ナリタJOBポート」の開設	厚生労働省千葉労働局や千葉県商工労働部の協力のもと、空港内に雇用相談窓口を開設し、空港関連企業向けには求人相談、労務管理に関するセミナー開催などを行うほか、個人向けには空港での就労相談や職業紹介などを行っている。	
		成田空港で働く従業員をテーマとした短編映画「空の港のありがとう」の制作	10/28(土)～10/30(月)の3日間で、空港・市内での撮影を実施。空港内においては、従業員への事前のシナリオハンティング(ヒアリング)をはじめ、実際に働く方々のエキストラ出演、撮影場所協力等、オール成田空港で取り組んだ。今後の上映に関しては、今後成田市内の高校や関係先で上映し、成田空港で働くことの意義を伝えていく。	
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進	関係機関や団体への情報発信	各種補助金等の申請や空港WG参加各社にとって有益な情報発信(外国人活用、移住定住に係るHPなど、人材確保に係る空港会社の取組み、働き方改革・健康経営に関するセミナー開催の案内など)を実施。	

【実施主体:空港会社等】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入	スマートレーンの導入促進	乗継検査場におけるX線検査装置の更新にあたり、処理能力向上、検査員の負担軽減につながるスマートレーン導入を検討。	
		リモートスクリーニングに関する検討	保安検査員が遠隔で機内持込手荷物画像を判定できる方法(リモートスクリーニング)を検査場の一部レーンで試行導入した結果、労働環境の改善、一定の生産性向上効果が確認できたことから、対象検査場を拡大予定。今後、実現に向けて関係者と協議を図る。	
		AIの活用に向けた検討	機内持込手荷物に対する保安検査に関し、AI技術の活用について検討。	
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整	新貨物地区の整備により航空物流機能を集約(2030年代初頭)	貨物上屋とフォワーダー施設の一体運用や、施設・設備の徹底的な自動化・機械化により、最高水準の物流効率性を追求する新貨物地区を整備する。	

【実施主体:地方自治体】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	成田空港南側圏における空港関連人材育成事業	空港南側圏の4市町(山武市・芝山町・多古町・横芝光町)、NAA、各航空会社等が連携して、空港関連企業で働く方の講話事業等を、小中学生を対象に行う。	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	千葉県夢チャレンジ体験スクール	空港会社及び航空会社の協力のもと、中高生を対象とした空港内施設の見学・業務説明を実施。	
		空港合同企業説明会・空港見学会の周知協力	空港会社が開催する合同企業説明会・空港見学会について、千葉県HPへの掲載や千葉県内JR駅でのチラシ配架等により、周知を行った。	
		マイナビ就職EXPO幕張会場での講演	㈱マイナビが主催する合同企業説明会にて、成田空港及び空港関連業務を紹介する内容の講演を実施。	
		空港を支える人材確保支援事業	空港関連企業の採用情報を公共施設や町ホームページ等で情報提供を実施。	
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			

【実施主体:地方自治体】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体:国】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開(事例収集・整理等)	各地の空港におけるベストプラクティスの横展開	空港設置管理者である空港会社と協力の上、情報の収集及び横展開を実施。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力(空港説明会への参画等)	空の日のイベントに合わせた空港、航空業務の紹介、情報発信	公益法人 航空科学博物館が主催する空港や航空関係業務の紹介や学校案内を目的とした空の日イベント夢へのフライトプラン～航空学校説明会～を航空保安大学校等と協力して実施。(R6年9月23日) また、小学生を対象に航空や空港に対する啓蒙を目的に開催された空の日航空教室へ空港事務所から管制官を派遣してイベント協力を実施。(R6年10月14日)	
		地方空港等受入環境整備事業費補助金の活用促進	地方空港等受入環境整備事業費補助金を活用して開催された、成田国際空港合同企業説明会(R6年5月14日、R7年2月7日開催)へ出展し、航空管制官等の業務紹介を行うなど積極的な参画を行い、人材確保に向けた取組を側面的に支援。	
		チャリティフライト、記念ヘリフライトへの実施協力	空港近くにある児童養護施設の子供たちに成田空港を空から見て、航空や空港の魅力を感じてもらうことを目的に地元有志の方々が発案したチャリティフライトの実施に協力。(R6年3月10日) 成田市制70周年記念として市内の中学生を対象に実施された記念ヘリフライトの実施に協力。(R6年11月30日)	
		クリーンアップ運動への協力	成田空港では、お客様に気持ちよく空港をご利用いただくため、毎年空港内外の道路清掃を実施しているところ。空港事務所として職員を派遣しクリーンアップ運動へ協力。	
		地元経済界有志等が製作した地域発信映画「空の港のありがとう」への協力	地元経済界有志が制作会社とともに製作した地域発信映画「空の港のありがとう」に職員有志が参加。	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援(先進機器の整備補助等)	成田空港T-SATオペレーションへの取組	運航者や管制機関などの関係者において、情報を共有することにより、航空燃料の節約や空港運用の効率化が可能となるT-SATオペレーションの取り組みを実施。	
		地方空港等受入環境整備事業費補助金の活用促進	地方空港等受入環境整備事業費補助金を活用し、空港関係事業者における先進機器導入、資格取得、社員教育等を支援。	
		「MR-TBO LIVE FLIGHT 2023」イベント開催の協力	次世代航空交通システムの推進やカーボニュートラルの実現に向けた取組である「MR-TBO LIVE FLIGHT 2023」イベント開催(R5年6月12日・13日)を航空局交通管制管制企画課と協力して実施。	空港DXの導入促進に向けた実証実験にも記載
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	各種会議等での情報発信	成田国際空港内官公署・空港設置管理者代表者懇談会や各種式典等において、各主体による取組の重要性を発信。	

【実施主体:国】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	各種取材を活用した航空保安業務の情報発信	各種の業界誌等からの取材を積極的に受けることで、航空管制業務を始めとする航空保安業務の情報発信の取組を実施。(例:子供向け職業紹介書籍、月刊雑誌等)	
		「ありがとう」ポスターの共有周知	事務所内全職員に対して、部課長会を通じて、その重要性を説明し実施協力依頼及び庁舎内各所ポスターを掲示。	
		成田国際空港安全推進協議会(NAA)主催「Narita Safety Award 2024募集・審査」への積極的参加	安全推進に係る優れた活動を讃えることで安全意識の向上・モチベーションアップを図り、成田空港の更なる安全運用の進展を目指して創設した表彰制度(Narita Safety Award)の募集・審査などをNAAと協力して実施。(募集期間:R6年7月~R6年12月13日)	
【短期】	空港WGの活用推進	空港WGへの参画	空港設置管理者と協力の上、空港WGに参加し、WGメンバーと情報や課題などの共有及び積極的な議論を実施。	
		出入国体制強化WGへの参画	空港設置管理者と協力の上、出入国強化WGに参画し、空港における諸手続きや動線、諸業務にかかる課題等を共有。WG構成の関係機関へ地方空港等受入環境整備事業費補助金の積極的な活用を周知。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験	「MR-TBO LIVE FLIGHT 2023」イベント開催の協力(再掲)	次世代航空交通システムの推進やカーボニュートラルの実現に向けた取組である「MR-TBO LIVE FLIGHT 2023」イベント開催(R5年6月12日・13日)を航空局交通管制管制企画課と協力して実施。	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援にも記載
		他空港の導入事例等の横展開	空港設置管理者と連携し、空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行う。	
【中期】	更なる支援措置等の検討(人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等)	成田国際空港脱炭素化推進計画の取組の促進	サステナブルNRT推進協議会の一員として、「成田国際空港脱炭素化推進計画」の取組の促進を実施。	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	他空港の導入事例等の横展開	空港設置管理者と連携し、航空局HPに掲載される先進技術等の他空港事例について横展開を行う。	

【実施主体:国】

成田国際空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	他空港の導入事例等の横展開	空港設置管理者と連携し、他空港事例についての横展開や個社の良好な取組を空港全体の取組となるよう推奨する。	
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	関係機関への情報発信	空港業務の持続的発展に向けた取組の動向について、関係機関に対し情報発信を行う。 あり方検討会の開催結果について、航空局HP公表された情報をもとに空港WG内にて情報共有を行う。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し	関係機関への情報発信	空港業務の持続的発展に向けた取組の動向について、関係機関に対し情報発信を行う。 あり方検討会の開催結果について、航空局HP公表された情報をもとに空港WG内にて情報共有を行う。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理(職員数、年齢構成、年代別年収、離職率 等)	関係機関への情報発信	本省にて収集したデータ及び資料について、関係機関に対し情報発信を行う。	